

研究協力のお願

この研究は、大阪医科薬科大学 研究倫理委員会および京都第二赤十字病院 臨床研究審査委員会にて審査され、病院長の許可を受けたうえで実施しております。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

京都第二赤十字病院 消化器内科

記

研究の名称	Guidewire-guided cannulationにおけるGuidewire先端柔軟長の差異による胆管挿管成功率を比較する多機関共同後方視的研究
対象	2022年8月1日から2023年12月6日までの期間に内視鏡的逆行性胆管膵管造影検査（ERCP）時に、ガイドワイヤーを併用した胆管挿管法が試みられた患者さんの診療情報を研究に利用いたします。当院では、10例（共同研究機関全体で500例）を予定しています。
研究期間	研究実施許可日 ～ 2027年7月1日
試料・情報の利用 目的及び利用方法	利用目的：内視鏡的逆行性胆管膵管造影検査（ERCP）は、胆管に病気がある患者さんに対する診断や治療において重要な手法です。実際には、内視鏡を使い、十二指腸乳頭部にカテーテルをあてがい、胆管内へアプローチし（胆管挿管）、種々の診断、治療を行います。この胆管挿管法には、あてがったカテーテルから、①造影剤を注入し、胆管内へアプローチする直接造影法や、②ガイドワイヤー（GW）を先行させて胆管内へアプローチするGW-guided cannulation（GW法）が主にありますが、GW法が、胆管成功率や、合併症である膵炎の頻度減少の観点から、最も頻用されています。GW法では、GWの柔軟部で胆管を探り、アプローチを行うため、先端部の特性がガイドワイヤーを用いた胆管へのアプローチの成否や、偶発症に影響することが推測されます。しかし、用いる先端柔軟長の異なるGWは、各施設により様々で、どちら

共同研究機関

東京医科大学病院	消化器内科 教授	糸井 隆夫
和歌山県立医科大学	第二内科講師	糸永 昌弘
富山県立中央病院	消化器内科 部長	松田 耕一郎
愛知医科大学	肝胆膵内科 准教授	井上 匡央
兵庫医科大学	肝・胆・膵内科 准教授	塩見 英之
自治医科大学附属さいたま医療センター	消化器内科 講師	関根 匡成
大阪公立大学医学部附属病院	消化器内科 病院講師	丸山 紘嗣
岐阜大学医学部附属病院	第一内科 講師	岩下 拓司
洛和会 音羽病院	消化器内科 部長	栗田 亮
東京医科大学病院	消化器内科 准教授	向井 俊太郎
国立がんセンター中央病院	肝胆膵内科 医長	肱岡 範
湘南鎌倉総合病院	消化器病センター 主任部長	小泉 一也
東京都立墨東病院	消化器内科 医長	小林 克誠
岡山大学病院	消化器内科 助教	松本 和幸
埼玉医科大学国際医療センター	消化器内科 准教授	谷坂 優樹
関西医科大学	内科学第三講座 准教授	池浦 司
大阪国際がんセンター	肝胆膵内科 副部長	池澤 賢治
近畿大学	消化器内科 特命准教授	竹中 完
東京大学	消化器内科 特任講師	高原 楠昊
帝京大学医学部附属溝口病院	消化器内科 教授	土井 晋平
九州大学病院	肝臓・膵臓・胆道内科 助教	藤森 尚
天理よろづ相談所病院	消化器内科 医長	南 竜城
久留米大学	内科学講座消化器内科部門 助教	寺部 寛哉
京都第二赤十字病院	消化器内科 医長	萬代 晃一郎
北海道大学病院	消化器内科 講師	栗谷 将城

参加拒否の申し出について

ご自身の診療情報を研究に利用させて頂くことに対する問い合わせ、参加拒否を申し出たい場合は、下記の連絡先までお願いいたします（対象者の代理人からの申し出も受付いたします）。

参加拒否の申し出をされた場合は、研究の対象から削除し、研究利用をいたしません。しかしながら、研究結果が出た後の参加拒否の申し出については、研究の対象から削除することができかねますので、予めご了承ください。

<問い合わせ窓口>

【主管研究機関】

〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号

大阪医科薬科大学病院 消化器内視鏡センター

担当者 小倉 健

連絡先 072-683-1221（代） 内線 56413

<共同研究機関>

住所：〒602-8026 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355番地の5

京都第二赤十字病院 消化器内科

担当者 萬代 晃一郎

連絡先 075-231-5171（代）